**第５学年国語科学習指導案**　　　５年１組　３１名　　授業者

１　単元名「明日をつくるわたしたち」

２　単元の目標

　　◎自分たちの身の回りにある問題について調べ、解決のための提案書を書くことができる。

　　◎話題を決めて、収集した知識や情報を関連付け、互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画

　　　的に話し合うことができる。

　　・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。

３　観点別評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 関心・意欲・態度 | 話す・聞く | 書く | 言語 |
| 身の回りの課題について調べ、解決のための提案書を書くということに関心をもち、課題に関する情報を集めたり、自分の考えをまとめたりしようとしている。 | ・収集した知識や情報を関連付けて話し合っている。・話題に対する自他の考え方、感じ方の違いを知り、意見を伝え合うことができる。 | ・提案書の構成を明確にして、書いている。・説得力が増すように、策の具体性、効果などを意識して、文章を書いている。・友達同士で読み合い、説得力のある提案書になるように推敲している。 | 言葉から受ける感じや、言葉の使い方について関心をもち、分かりやすい文章になるように表現を工夫している。 |

４　指導計画

構成　第７・８時

〇提案書の構成内容や表現の特徴を考えて、下書きを作成することができる。

・集めた情報を活用し、下書きを行う。

取材　第４～６時

〇自分が提案したい解決策について必要な情報を集め、考えをまとめることができる。

・クラスや学年、他学年の友達を対象にインタビューを実施し、日常生活で困っていることや実現してほしいことなどについて調査する。

・調査結果をもとに、自分の考えをまとめる。

課題設定　第１～３時

〇身の回りの課題について話し合い、課題を解決するための学習計画を立て、学習の見通しをもつことができる。

・身の回りの課題を解決するための学習計画を立てる。

・課題や解決策について、小集団及び全体で話し合い、協議する。

・提案書の構成内容や書き方を確認する。

交流　第１３・１４時

〇提案書を発表し、文章の書き方について感想を交流することができる。

〇協議をしたり提案書を書いたりしたことを振り返り、それぞれの学習で身に付けたことや学習の価値をまとめることができる。

・提案書を読み合い、文章の書き方について感想を交流する。

・学習の振り返りを行う。

推敲　第１１・１２時

〇説得力のある提案書にするために、表現や表記を工夫して修正を行い、清書することができる。

・提案書の清書を行う。

記述　第９・１０時（本時）

〇書きまとめた下書きを読み返し、推敲することができる。

○必要に応じて下書きを修正し、つながりよく提案書をまとめることができる。

・構成メモを読み返したり、友達に読んでもらったりして推敲する。

・下書きを修正する。

・必要な情報を再度集める。

**関連する学習・継続的な活動**

・「みんなが安心して暮らせるまちづくりについて」（リーフレット作り）

―総合的な学習の時間「地域のバリアフリーを提案しよう」―

・「わたしたちの食生活について考えよう」（新聞づくり）

―社会科「これからの食料生産」―

５　授業づくりの手だて

　○意欲を高めるために

　　・児童が主体的に学習に取り組めるように、身の回りの課題という身近な題材を扱ったり、相手意識を明確にさせたりする。また、提案書を提出するには友達の確認印をもらわなければならないというルールを設定することにより、自分の提案書以外にも責任をもてるようにする。

　○思考を深めるために

　　・児童が説得力のある提案書の内容や構成を考えられるように、提案書の良い例と悪い例を提示して話し合わせる。

　○技能を身に付けさせるために

　　・児童が説得力のある提案書を書いたり、的確に推敲したりできるように、「説得力のある提案」

「分かりやすい文」についての視点を明確にする。

６　本時について

○本時の目標

・書きまとめた下書きを読み返し、推敲することができる。

・必要に応じて下書きを修正し、つながりよく提案書をまとめることができる。

○本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ○学習活動 | ・教師の支援 | ☆評価 |
| 【めあて】説得力のある提案書にするために、下書きを推敲しよう。○説得力のある提案書の確認○推敲の視点の確認　　　（１０分）○提案タイム（２５分）　・グループごとに友達の下書きを推敲してアドバイスしたり、良い点を伝えたりする。　・下書きを修正する。　・確認サインをする。　○振り返り（１０分）　・自分や友達の下書きの内容を振り返り、良かった点を発表し、共有する。 | ・推敲の視点を明確にする。「説得力のある提案書とは…」○おっ「見出し」➡何々「現状」➡うんうん「提案」➡　なるほど「証拠」➡わかった「結論」の流れで内容が構成されているか？○「現状」「証拠」の２点について、しっかりと情報が集められていて信頼性があり、実現可能であるか？「分かりやすい文とは…」①文を短く②大事なことは初めに③読みやすい句読点④何回も同じ言葉は×⑤大事なことは箇条書き⑥事例を挙げる⑦図、表、写真、グラフ、マンガ・事前に下書きをグループの人数分コピーしておき、児童がアドバイスを直接書きこめるようにする。・全体で共有したいことがある場合は、適宜時間を取って対応できるようにする。 | ☆視点をもとに、友達の下書きを推敲し、よりよい内容にしようとしている。【関】発言　　　下書きのコピー☆アドバイスをもとに説得力のある内容を書いている。【書】下書き |